



琵琶湖環境体験学習

(1) ねらい

【校外学習】

カヌーなどのスポーツ体験とプランクトン観察や水質実験などを通して、琵琶湖の水環境について興味関心をもつとともに、環境保全についての理解を深める。



(2) 対象 (○の下の数字は対象学年)

幼	小	中	高	般
	○	○	○	○

(3) 支援メニュー提供者

オーパルオプテックス株式会社

(4) 形態

見学/校外学習

(5) 関連教科等 * () 内は関連性の強い単元

総合的な学習(小5:琵琶湖環境学習)、理科、社会科、体育科

(6) 土曜授業

可

(7) 支援メニュー内容

「琵琶湖環境体験学習」は、環境保全意識を高める取組みの一環として、まず子どもたちが琵琶湖に親しむことが重要であると考え、「学ぶ意欲・たくましい体・確かな環境感」の育成を目的に体験学習を行っています。学習は、次のような活動を組み合わせて実施します。

【琵琶湖の水環境体験学習】 琵琶湖の透明度、水温をしらべたり、プランクトン、水生生物、水草、湖畔のヨシ帯などについて実験・観察をしたりすることで、水環境の大切さについて学びます。

【生き物調べ体験学習】 実際に琵琶湖に入り、水や湖畔の植物に触れて琵琶湖の生物や水草を観察し、多くの生物が深く結び合って生活していることを学びます。

【ヨシ笛づくり体験学習】 琵琶湖のヨシを使って、8音階出すことができる自作のヨシ笛をつくり、音色を楽しみます。ヨシ帯が琵琶湖の水質浄化にどのような役割を果たしているのかを学びます。

【カヌー体験学習】 1人乗りのカヌーに乗り、練習をすることで自主性を育てます。カヌーに乗って琵琶湖をめぐる、ヨシ帯の自然観察をします。カヌーは水面に近いので、水中の観察や、琵琶湖の水の匂い・水温などを肌で感じることができます。

【ドラゴンボート体験学習】 20人で力を合わせて漕ぐ船です。チームワークが重要で、漕ぐタイミングを合わせると速く進みます。ドラゴンボートに乗り、湖側から陸地を観察したり、水鳥や水草を観察することができます。

【いかだづくり体験学習】 10人1組で浮くパイプを組み合わせていかだを作り、琵琶湖でレースをします。速く進み、沈まない形のいかだ作りを目指します。

(8) 支援メニュー関連ホームページ

<https://www.o-pal.com/>

(9) 費用

謝金	応相談
旅費	不要

(10) その他

「オーパルオプテックス株式会社」ホームページをご覧ください。

▶実践事例紹介

申し込み

この支援メニューは、メニュー提供者のホームページまたは電話・FAX等により直接申し込んでください。